

## 予算決算委員会総務政策分科会会議録

### 招 集

令和4年3月15日（火） 議場

### 出席委員（9名）

（分科会長）奥 岩 浩 基 （副分科会長）岡 村 英 治  
安 達 卓 是 稲 田 清 今 城 雅 子 岩 崎 康 朗  
岡 田 啓 介 尾 沢 三 夫 西 川 章 三

### 欠席委員（0名）

### 説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】辻部長 佐小田防災安全監

[秘書広報課] 角課長 小林シティプロモーション推進室長

[総務管財課] 松本課長 吉持財産管理担当課長補佐

[防災安全課] 大野原課長 田中課長補佐兼危機管理室

[調査課] 足立課長 宇山課長補佐兼行財政調査担当課長補佐 泉原担当課長補佐

[職員課] 矢野課長 楠人事担当課長補佐

[財政課] 長谷川次長兼課長 大塚課長補佐兼総括主計員 小梅川主計員

[契約検査課] 福田課長 種子契約担当課長補佐

【総合政策部】八幡部長 河田人権政策監兼人権政策課長

[総合政策課] 川本課長 伊藤課長補佐兼まちづくり戦略室長 松本広域行政推進室長

[都市創造課] 相野課長 石原都市計画担当課長補佐

[交通政策課] 石上課長 山根担当課長補佐

[情報政策課] 堀口次長兼課長

[地域振興課] 毛利課長 山内自治振興担当課長補佐

[男女共同参画推進課] 永江課長 舟木課長補佐

[人権政策課] 長谷川課長補佐兼同和对策担当課長補佐

【淀江振興本部・淀江支所】橋井本部長兼支所長

[淀江振興課] 山浦次長兼課長 山川課長補佐兼振興担当課長補佐

[地域生活課] 小乾課長

### 出席した事務局職員

松下局長 土井次長 森井議事調査担当局長補佐 大東議事調査担当主任

### 傍聴者

石橋議員 戸田議員 森谷議員 前原議員 又野議員 矢田貝議員 渡辺議員

報道関係者2人 一般1人

### 審査事件

議案第22号 令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第15回）のうち当分科会所管部分

議案第29号 令和4年度米子市一般会計予算のうち当分科会所管部分

議案第 3 1 号 令和 4 年度米子市土地取得事業特別会計予算のうち当分科会所管部分  
~~~~~

### 午前 10 時 06 分 開会

○**奥岩分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、10 日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案 3 件について審査いたします。

初めに、議案第 2 2 号、令和 3 年度米子市一般会計補正予算（補正第 1 5 回）のうち、総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総務部次長。

○**長谷川総務部次長兼財政課長** そういたしますと、議案第 2 2 号、令和 3 年度米子市一般会計補正予算（補正第 1 5 回）のうち、本分科会に付託されました総務部所管の事業について御説明いたします。

説明資料といたしましては、別途お配りさせていただいております令和 3 年度米子市一般会計補正予算（補正第 1 5 回）の歳出予算の主な事業の概要（国の補正予算関連等）をお開きください。

これの 1 ページをお開きください。1 ページ、上の段の職員課事務費から、次のページ、2 ページの下の段、文書管理事務費までの 4 事業でございますけれども、いずれの事業も行政事務のデジタル化を推進する事業として実施するものでございまして、それぞれ人事評価システム、契約管理システム、キャッシュレス決済、電子契約システム、畜犬管理システム、電子決裁システムなどを導入するための経費を計上するものでございます。なお、この 4 事業に係るシステム構築につきましては、年度内完了ができない見込みでございますことから、あわせて繰越明許費を設定するものでございます。

続きまして、説明資料を変更させていただきます。別途お配りしております補正予算書のほうをお開きいただけますでしょうか。令和 3 年度米子市補正予算書の 3 3 ページをお開きください。補正予算書の 3 3 ページでございます。歳出の一番上の欄、一般管理費、これの右端説明欄 1 行目に、一般管理費、人件費として 3 億 1,779 万 7,000 円を計上しております。これは定年退職者以外に、自己都合などによりまして職員が退職することに伴う退職手当などでございまして、新たに必要となります人件費を追加しようとするものでございます。

同じくその下の 2 行目から 4 行目の行政改革推進事業、それから、その下の欄の文書費の文書管理事務費までの 4 事業につきましては、先ほど説明させていただきましたとおりでございます。

続きまして、その下の欄、財政管理費の右端説明欄の 1 行目に、財政管理事務費として 7 億 7,104 万 1,000 円を計上しております。これは国税の増収に伴いまして地方交付税が追加交付されました。それが臨時財政対策債の償還に充てることとされましたことから、減債基金への積立てを行うものでございます。また、あわせて、第三セクター等改革推進債に係る土地の売却がございましたので、あわせて、この土地売払い収入につきましても減債基金へ積み立てるものでございます。

次に、ページが飛びますが、38ページをお開きください。補正予算書の38ページの上の表でございます。公債費、元金の欄、右端説明欄の1行目でございますけれども、起債償還元金として6億4,708万円を計上しています。これは、先ほど説明いたしました臨時財政対策債に関連いたしました財務処理といたしまして、見合いの額の臨時財政対策債の繰上償還を行うものでございます。

説明は以上です。

**○奥岩分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

安達委員。

**○安達委員** すみません、2点ほどちょっとお聞かせください。

今、補正予算の説明があったんですが、1ページ上段の人事評価システム、990万の補正額ですけれども、ちょっとお聞きしたいのは、人事評価システムの導入委託ということですが、現行はどうしておられて、この補正をすることによってどう変わっていくのか、その事業内容を少し教えていただけますか。

**○奥岩分科会長** 矢野職員課長。

**○矢野職員課長** 人事評価の業務の現行、どのような感じかというところなんです、システムを今のところ導入しておりませんので、一応ペーパーレスの方向で、データでのやり取りを中心にはしているんですけれども、基本的にはエクセル等の汎用ファイルで対応してるところです。これをシステム化することによりまして、人事評価の結果を、結果自体の集積、それから分析、そういったもので広く今後も活用していくとともに、人件費の削減も見込まれるというところでシステム化したいと考えているものです。以上でございます。

**○奥岩分科会長** 安達委員。

**○安達委員** それで、対象とされる職員ですけれども、正規職員はもちろんだと思うんですけれども、いわゆる臨時職、会計年度任用職員も含まれるんですか。正規職員のみですか、対象者は。

**○奥岩分科会長** 矢野課長。

**○矢野職員課長** 今のところで、フルタイムの職員ですね。約900名ほどを対象として考えております。

**○奥岩分科会長** 岡村委員。

**○岡村委員** 1点お尋ねしたいと思うんですけど、最初のほうに説明がございました職員課事務費とか契約検査事務費、そして行政改革推進事業、文書管理事務費、こういったものは、全てデジタル化とかそういうものに関係する国の国庫支出金によるものなんですけれども、これはどういった意味合いで国はこういった、今の時期において予算化してきたのか、それについてお尋ねしたいと思います。

**○奥岩分科会長** 長谷川次長。

**○長谷川総務部次長兼財政課長** この4事業のデジタル化推進の予算につきましては、新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を充てることとしておりまして、こういった行政事務手続デジタル化、迅速化、ペーパーレス化についても充当可能となっているものでございまして、これを活用して行政事務のデジタル化を進めるものでございます。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** 行政事務のデジタル化を進めるといった、これは国の方針ということになるわけですか。

○**奥岩分科会長** 長谷川次長。

○**長谷川総務部次長兼財政課長** 国の今後の骨太方針等でも示されておりますけれども、大きく4つの方針、国、出しておまして、デジタル化推進、あと、脱炭素、それから地方創生等、予算編成方針にも書かせていただいておりますけれども、そのうちの一つということで、米子市としてもデジタル化の推進を図っていききたいという具合に考えております。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** 国の方針というふうなところ、デジタル庁の設置そのものがそういうふうな形で表れてきているというふうにするんですけども、こういった点については、先ほど指摘しました、議案での指摘しましたように、いろんな危険が住民にとっても表れてくるんじゃないかというふうに思いますので、そこら辺は指摘しておきたいと思います。

○**奥岩分科会長** ほか、よろしかったでしょうか。

安達委員。

○**安達委員** ちょっとすみません、今、概要を読ませてもらって気づいたところですけども、2ページ上段の行革推進事業、784万2,000円のことですけども、キャッシュレス決済導入ということの説明があるんですが、対象は市民の方、どのような方を対象とされているのか、その内容。さらに内容欄に、「ちくけん」と読むんですか、管理システム構築って、このことがちょっと分かりづらいんで、私、ちょっとその辺がお聞きしたいので、よろしくお願いします。2点ですね。

○**奥岩分科会長** 宇山調査課課長補佐。

○**宇山調査課長補佐兼行財政調査担当課長補佐** 2点お尋ねがございましたのでお答えをさせていただきます。

まず、1点目のキャッシュレス決済の対象についてでございますが、このたびの事業で対象としますのは、市役所の市民課、市民税課、収税課、それから淀江支所の地域生活課等の窓口で各証明等をお取りいただいた際の証明発行手数料等を対象とするものでございます。

次に、2点目の畜犬管理システムについての御説明でございますが、これ、畜犬についての業務は現在システム化をされておらず、主管課は環境政策課ですが、生活年金課や地域生活課の窓口で、住所異動があった際などには必要なお手続を取っていただいているところでございますが、システム化をされておらないために、各課間での情報の連携ですとか、あるいは手続漏れが起きるというような問題が生じております。これを基幹業務内に組み込みまして、各課間の情報の連携を図り、また、スマート窓口とも連携をさせることで、住所変更の際などに手続漏れをなくして、一括でお手続ができるような体制を整えようとするものでございます。以上です。

○**奥岩分科会長** 安達委員。

○**安達委員** じゃ、確認ですが、この畜犬っていうのは、家畜の意味の「畜」なんですか、ペットですか。

○奥岩分科会長 宇山課長補佐。

○宇山調査課長補佐兼行財政調査担当課長補佐 飼い犬というふうに御理解いただければと思います。

○奥岩分科会長 ほか、よろしかったでしょうか。

岡田委員。

○岡田委員 すみません、一般管理費、人件費っていうことで3億1,779万7,000円、これは、最後になってから退職とかなんとかっていうのが分かったっていうことなんですか。それとも、当初である程度予算を組んどられたんですけども、この年度末になって、ある一定の方が退職をされるということで予算措置をされたということでよろしいんですかね。

○奥岩分科会長 矢野課長。

○矢野職員課長 退職手当の補正の、この時期になぜ上げられたかという御質問だと思いますが、委員おっしゃるとおり、定年退職以外の方で、自発的に早期に退職される方が急遽出てこられたことに伴う予算計上でございます。

○奥岩分科会長 岡田委員。

○岡田委員 結構な金額ですんで、結構な人数なのかなという気はいたしますけれども、それがあつて業務に支障がないものなのか、その辺りのところ。この退職金っていうところだけじゃなくて、これ、どの年齢の方がっていうのははっきり分からないんですけども、多分、人数としてはそれなりの人数の方がこの年度末に向けて、定年ではないけれどもお辞めになれるっていうことなんですよ、これね。ですんで、費用面だけじゃなくて、いわゆる人がお辞めになるっていうことは業務にかなり支障を来す面もあるんだろうと思うんで、その辺りはぜひとも、支障を来さないように対応しておられるんだろうと思いますけども、そういったことを十分に気をつけていただくように指摘をしておきたいと思います。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 もう一点お尋ねしたいと思うんですけども、事業の概要の2ページの上段、行政改革推進事業、これについてですけども、最初に、キャッシュレス決済の種類の拡大などというふうに記述してあるんですけども、これは種類の拡大っていうことは、現在までのものがどういうふうな状況だったのか、そして、どういうふうな拡大になるのかっていうことについてお知らせください。

○奥岩分科会長 宇山課長補佐。

○宇山調査課長補佐兼行財政調査担当課長補佐 キャッシュレス決済の種類の拡大についてのお尋ねでございます。

現在、各市民課等の窓口で証明発行手数料をお支払いいただく際に、いわゆるスマホ決済のうち、PayPayとLINE Payでのみお支払いをいただくことが可能となっております。このたびの事業でこれに加えまして、他のスマホ決済であるとかあるいはクレジットカード、それからいわゆる電子マネー、そういったものでもお支払いが可能となるようにしたいというふうに考えております。以上です。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 いろいろ使えるようになるということなわけですけども、こういった市民か

らの要望というのでしょうか、ぜひこういうところも使えるようにしてほしいとか、そういった声っていうのは届いてるのでしょうか。

○**奥岩分科会長** 宇山課長補佐。

○**宇山調査課長補佐兼行財政調査担当課長補佐** そういった具体的な御意見を調査課のほうで承っているということは特にございませんけれども、ただ、一般的な社会情勢を見ましても、今、キャッシュレス決済、どんどん広がっておりますし、先ほど申し上げた限られたQRコード決済しか今、市役所では使えないわけですが、現在でもおよそ四、五%の御利用がございますので、そういったニーズというのはあるというふうに考えております。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** 今、四、五%の利用率だというふうなことがありました。米子市役所においても大体そういった傾向だということですか。

○**奥岩分科会長** 宇山課長補佐。

○**宇山調査課長補佐兼行財政調査担当課長補佐** 申し訳ありません、言い方がちょっと言葉足らずで申し訳ありません。米子市役所の窓口において四、五%の御利用があるということでございます。

○**奥岩分科会長** ほか、特によろしいのでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○**奥岩分科会長** ないようですので、本件については終了いたします。

次に、議案第29号、令和4年度米子市一般会計予算のうち、総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川次長。

○**長谷川総務部次長兼財政課長** そういたしますと、議案第29号、令和4年度米子市一般会計予算のうち、本分科会に付託されました総務部等の予算のうち主な事業について御説明いたします。

説明資料としてお配りしております令和4年度当初予算歳出予算の主な事業の概要（予算説明資料）をお開きください。2ページをお開きください。下の段、本庁舎等設備等整備事業としまして1億2,073万6,000円を計上しております。これは、本庁舎の1階、3階、4階、5階の空調設備改修を行うほか、冷温水発生機の定期整備など、庁舎を適切に維持管理するための整備を行うものでございます。

続きまして、3ページ上の段、スマート窓口システム構築事業としまして1,283万1,000円を計上しております。これは、窓口においでになる方の負担軽減と事務の効率化を図るため、マイナンバーやAIなどのICT技術を活用したスマート窓口システムの構築を行うものでございまして、令和3年度に構築いたしました子育て分野に続き、本年10月には国民健康保険や介護保険、障がい者福祉などの手続についても対象とした二次稼働を行うものでございます。

続きまして、下の段、鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糶町庁舎整備等事業としまして8,750万3,000円を計上しております。これは、PFI事業により鳥取県と共同で糶町庁舎の整備及び維持管理を行うものでございまして、令和4年度分の本市負担

分の経費を計上しております。

続きまして、4ページ上の段、災害対応効率化推進事業としまして2,422万2,000円を計上しております。これは、迅速、的確な災害対応や災害対策本部の効率的な運用ができるよう、災害時において被害状況や対応状況等に係る情報集約と処理を行う災害情報システムを導入するものでございます。

続きまして、下の段、シティプロモーション推進事業としまして79万2,000円を計上しております。これは本市の魅力を外に情報発信するものでございまして、引き続き広島のマツダスタジアムでのプロモーションを行うほか、庁舎の懸垂幕を活用した情報発信などに取り組むこととしております。

続きまして、5ページ上の段、つながる・深まる、米子サポーター！メールマガジン活用事業としまして46万2,000円を計上しております。これは、本市の情報発信と関係人口の濃密化を図るため、ふるさと納税や米子ヨネギーズクラブなどで蓄積したデータを活用し、メールマガジンを配信するものでございます。

続きまして、ページ飛びまして、13ページ、お開きください。13ページの下段でございます。参議院議員通常選挙といたしまして、6,131万7,000円を計上しております。これは令和4年7月の任期満了に伴う参議院議員通常選挙の執行に必要な経費を計上するものでございます。

続きまして、14ページ上の段、市議会議員選挙としまして8,055万円を計上しております。これは令和4年6月の任期満了に伴う市議会議員選挙の執行に必要な経費を計上するものでございます。

続きまして、ページが飛びまして、57ページをお開きください。57ページの上段でございます。少年消防クラブ防災教育事業としまして、103万7,000円を計上しております。これは、少年消防クラブが行う防災教室などのほか、本市で開催予定の全国少年消防クラブ交流大会に係る経費を計上するものでございます。

続きまして、下の段、女性消防団活性化事業としまして35万3,000円を計上しております。これは、女性消防団の加入促進のための広報活動のほか、研修会や消防、防災に係る啓発活動などに係る経費を計上するものでございます。

説明は以上でございます。

**○奥岩分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

安達委員。

**○安達委員** 今、説明があった最初のところの2ページ下段の本庁舎等設備等整備事業ですけれども、説明で何階か、全階でなくてそれぞれのフロアの何ていうんですか、改修だというふうに聞こえてきたんですが、随分大きな額だというふうにとっておりまして、こういった定期点検っていうのは、担当部局はきちんと計画書なりを年次的に、整備されるための計画書を持っておられると思うんですが、そういった資料提供っていうのは今まで頂けていたのかなと思うんですが、非常に大きな額ですので年次計画を網羅した計画書なりをまた資料提供いただければと思います。その中で、定期点検ということですのでよろしくをお願いします。

それと、空調増設っていう、7,717万6,000円ですか、これは設備工事の内容っ

ていうのを教えていただけるものですか。

それと、単年度完了ですか。何年か、複数年でやる今年なのか、少しそこを詳しく教えていただけますか。

○**奥岩分科会長** 松本総務管財課長。

○**松本総務管財課長** まず、最初の定期点検の計画でございます。こちらのほうは取りまとめをしまして、提供のほうさせていただきたいと思います。

次に、空調の今回の工事でございますけれども、先ほど説明しましたとおり、1階、3階、4階、5階の空調についての工事でございます。こちらのほうは、現在の本庁舎の空調設備が、建設しました当時の機械を引き継いでおりますので、現在のなかなか暑い夏などには対応ができておりません。そのために、現在のエアコン、空調を補完する空調ですね、プラスアルファの空調としての設置を計画しております。2階が飛んでおりますのは、2階につきましては平成24年、25年に既に工事のほうが完了しておりますので、2階のほうは今回は除いてあります。

あと、工事の期間でございますけれども、令和4年度単年で完了する予定でございます。

○**奥岩分科会長** 安達委員。

○**安達委員** もう一点。次、設備工事のところでは約3,300万の工事費が上げてありますが、これと設備工事と関連するのでしょうか。さっき課長から説明がありましたけれども、関連しないものですか、関連するものですか。

○**奥岩分科会長** 松本課長。

○**松本総務管財課長** この2つにつきましては、関連します工事でございます。

○**奥岩分科会長** 安達委員。

○**安達委員** 続いていいですか。4ページ上段ですけれども、先ほども説明があったと思うんですが、災害対応効率化推進事業、これは新規として受け止めたんですが、この事業に取り組むべき背景っていうのはどんなものなのか。それと、事業内容についてもう少し詳しく教えてもらいたいんですが、国・県の財源の措置っていうのはないのでしょうか。そこをまず2点教えてください。

○**奥岩分科会長** 大野原防災安全課長。

○**大野原防災安全課長** この事業内容について、背景についてということでございますが、この背景につきましては、昨年7月の大雨、この対応での反省点を踏まえて予算計上したものでございます。そのときに、やはり様々な情報が多数いろんな課に寄せられまして、その内容を各課で集約しておったところでございますが、反省点としましては、情報がかなり錯綜して、あるいは同様の情報も様々な課に入ってきたものでございますから、災害の対応、これが重複したりといった、そういった状況になりました。そういった反省を踏まえまして、そういう災害情報を一元的に、また効率的に整理しまして、瞬時に関係者間で共有することで、限られたマンパワーを災害対応に有効に活用するといったような内容でございます。

具体的には、GPS上でそういった情報を一元管理しておりまして、電話等で入ってきた情報をそのフォーマットに合わせて入力する中で、対応する課に情報を共有していただいた上で現場に行っていただいて、現場での状況等もその地図上で全て入力することによって、その災害に対応をする状況がほかの課でも瞬時に確認できるというようなシステ



ムになってございます。

あと、財源につきましては、緊急防災・減災事業債を充当する予定にしております。以上でございます。

○奥岩分科会長 安達委員。

○安達委員 もう少しちょっと続けて聞きたいところがあるんですが、財源がそのような、地方債を充てるということもありますが、一般財源、僅かですけども、2万2,000円が上げてあるんですけど、これは何かなっていることと、それから、事業内容のところに出てくると思うんですが、的確に策が打てるっていうふうにあります、かなりこれは、さっき細かい説明もありましたですが、もう少しこの的確っていう言葉にちょっと気を取られたものですから、教えていただけますか。

○奥岩分科会長 大野原課長。

○大野原防災安全課長 まず、2万2,000円につきましては、地方債がかからない単位というふうに認識しております、あと、的確な対策立案っていいのですが、このGPS上に残された情報っていうのは、各年ずっと情報として残していくことになります。すなわち、災害が起きたときには、同じようなところで同じような事象が起きるということが縦串で分かるようになっておりまして、そうしますと、対応につきましてもそのポイントに絞って適切な対応ができるということで、こちらの的確な対策立案、これにつながるかなというふうに考えてるところでございます。以上です。

○奥岩分科会長 安達委員、よろしいですかね。

○安達委員 ありがとうございます。

○奥岩分科会長 稲田委員。

○稲田委員 4ページ下段、シティプロモーション推進事業についてお聞かせください。

冒頭の説明で懸垂幕のところにも触れられましたが、予算39万6,000円上がってますけど、これ、具体的にもうデザインっていうか、やることは決まっていますでしょうか。

○奥岩分科会長 角秘書広報課長。

○角秘書広報課長 シティプロモーション推進事業の中におきます懸垂幕の内訳でございますけれども、これは予算の枠というところがありますので、例年3本程度ということで計上させていただいております。

○奥岩分科会長 稲田委員。

○稲田委員 これ、市民の方から、あそこ、あつたりなかつたりで、ないときみしいがなと御指摘というか、あつたほうがいいという御意見だったんですが、記憶の中には、最初、「水 まち 自然 エンジョイ！よなご」でしたっけ、あつて、その後、Official髭男dismさんとかオリンピック関連とかあつて、オールマイティー型とタイムリーなやつと織り交ぜられてこられたのかなとは思っていますが、今、3本ぐらいとおっしゃいましたけど、何か基準というものはちなみにあるんですかね、こういうときは作りますよみたいなものは。

○奥岩分科会長 角課長。

○角秘書広報課長 懸垂幕の作成の基準についてでございますが、まず1つ、稲田委員のほうが言われました米子市のキャッチフレーズ、こういったものが老朽化していきますと、まず更新をするというものが1つございます。あとそのほか、世界大会、特にスポーツの

分野ですとかになるんですけれども、世界大会に出場されるっていうような場合に、市民へ米子市を挙げて応援する、そういった場合に作成をしたりするところがございます。

○奥岩分科会長 稲田委員。

○稲田委員 ということ、いわゆる、何と云えばいいんですかね、外側の設置するものはもうそれは常設でありますので、懸垂幕はあったほうがいいんじゃないかなと思いますので、ぜひ活用いただきたいのと、米子城がお正月取り上げられたこともいろいろあったりで、米子のトピックとなるようなことを常に発信いただけたらなど、これ、要望ですのをお願いいたします。以上です。

○奥岩分科会長 尾沢委員。

○尾沢委員 13ページのマイナンバーのことをちょっとお聞きしてみたいなと思ってますが、いいですか。

○奥岩分科会長 尾沢委員、そちら所管管轄外になりますので、先ほど御説明のあった内でお願ひしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○尾沢委員 ここは管轄外か。ああ、そうかそうか、これ違うんかいな。ほんなら、管轄のときに聞くようにしましょう。いいです。

○奥岩分科会長 ありがとうございます。

岡村委員。

○岡村委員 まず、3ページの上段ですけども、スマート窓口システム構築事業ということで、現在、どの程度の利用実績があつて、それをまた10月からはさらに活用を広げていくということのようなんですけども、これまでの利用実績とかそういうものっていうのは分かりますでしょうか。

○奥岩分科会長 宇山課長補佐。

○宇山調査課長補佐兼行財政調査担当課長補佐 スマート窓口の利用実績についてのお尋ねでございますが、ただいま正確な数字はちょっと手元に持ち合わせておりませんが、大体1日平均で5件から10件の間ぐらいの御利用があると。今、子育て関係にお手続絞られておりますので、そのぐらいの利用実績だというふうに聞いております。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 今お聞きしたのが、なかなかぱっと見かけるに、それほど利用されてないんじゃないかなというふうに心配したもんですからお尋ねしたんです。これがいろいろ利用範囲が広がるということによって、また活用も広がると思うんですけど、ただ、そこにやっぱり誘導するというか、そういったことっていうのが必要になってくるんじゃないかなというふうに思いますので、そこら辺はフロア全体を通してまた検討していただきたいというふうに思います。

それから、もう一つですけども、5ページの上段、つながる・深まる、米子サポーター！メールマガジン活用事業ということで、メールマガジンの定期的な配信ということが言われておりますけども、具体的にどういったエリアに何人ぐらいの登録者っていうんでしょうか、そういうものが今現在あるんでしょうか。

○奥岩分科会長 角秘書広報課長。

○角秘書広報課長 メールマガジンの登録者数についてのお問合せでございますが、2月末現在の登録者数が1万5,216名となっております、その9割以上の方が市外の方で

ございます。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** そういった方々、何らかの形で米子にゆかりがあるという、縁があるとかいうふうな方も多いと思うんですけども、そういった方々とのつながりをやっぱり深めるといことで重要なツールだなどというふうには思ってるんですけども、例えば、こちらが配信するだけではなくって、先方、登録者の方からの反応っていうのでしょうか、そういうものっていうのはつかまれているのでしょうか。

○**奥岩分科会長** 角課長。

○**角秘書広報課長** メールマガジンに御登録いただいている方からの返信ですとか、そういったものになりますけれども、数は決してこの割合からすると多くはございませんが、お届けする、例えば観光情報でしたり、あとは移住定住情報、あとは地域ニュース等をお届けする際に、それについて魅力を感じていただきまして、例えば今、コロナ禍でなかなか米子市のほうも訪問ができないんですけども、落ち着いた頃にはぜひ米子を尋ねてみたいですか、そういった返信はいただいたりすることがあります。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** ぜひ、そういったつながりを大切にさせていただきたいというふうに思います。以上です。

○**奥岩分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** 先ほどちょっと触れておられましたけど、4ページと5ページのところで、シティプロモーション推進事業なんですけど、これって、例えば情報発信の中で、今、SNSとかって本市は使っておられるんですか。そういう予算措置っていうのはあるんですかね。

○**奥岩分科会長** 角秘書広報課長。

○**角秘書広報課長** シティプロモーションに当たりまして、SNS等の情報発信でございますけれども、まず、市の情報発信といたしましては、広報よなご、そしてホームページっていうのもまだ主流、中心ではございますけれども、そのほか、フェイスブック、ツイッター、LINE、こういったものを活用しまして、情報発信をしているところでございます。

○**奥岩分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** その辺りの、何ていうか、予算措置っていうのは特になんていうことなんですかね。

○**奥岩分科会長** 角課長。

○**角秘書広報課長** SNSですとか、あと、フェイスブック、ツイッター、こういったものの経費というものは発生しておりませんですけども、そのほかの各種情報発信ということで予算化しておるものとしましては、例えば新聞広告ですとか折り込み広告、あとはその他のテレビ番組、ラジオ番組、こういったところの情報発信については予算化をさせていただいてるところでございます。

○**奥岩分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** その中に、先ほど言われたSNSの中にはインスタグラムってなかったんですけど、この間、ある研修会行きますと、海外の人だとか県外の方っていうのは今、旅行

先を選定したりなんかするときが一番使うのがインスタだって言うんですよね、インスタグラム。僕もあまりそういうの詳しくはないんですけど、その辺りもっと柔軟にやられたらいいと思いますし、やっぱりやり方によって全然効果って多分違うんだと思うんですね。取りあえずやっていますというものと、そういうもので大きく効果を生み出せる、そういうやっぱりノウハウや何かの勉強っていうことに関して、ある程度予算措置をしてもいいじゃないかなって思うんですけど、いわゆる代表的なホームページだとか広報っていうのは当然必要だと思うんですけど、やっぱり市外の方、特に国外まで、海外の方までアピールしていこうと思うと、もう少し柔軟な情報発信の仕方をされたほうがいいように思うんですけども、いかがですかね。

○奥岩分科会長 角課長。

○角秘書広報課長 今、岡田委員言われましたように、情報発信につきましてはやはり様々な広報媒体を使って、いかに情報を分かりやすく届けるかっていうのが重要になってまいりますので、その辺りは柔軟に研究をしながら進めていきたいと思えます。

あと、1点補足でございまして、あと今、新たに取組んで研究をしておりますのが、デジタル広告というものも近年、例えばSNSとかを見ていると、広告が出てきたりということもありますので、そういったような広告の発信の仕方、情報の発信の仕方っていうのも研究しながら取組んでいきたいと考えておるところでございます。

○奥岩分科会長 岡田委員。

○岡田委員 ぜひとも、特にそういう分野っていうのは若い子は得意ですし、僕らなんかちょっと全然駄目なんですけど、若い人っていうのは本当にそういうことに関して豊かな発想を持ってられますんで、そういうことに関しては、行政としては、例えば副市長なんて大変優秀だと思うんですけど、そういうことに関しては、ぜひ若い方の意見取り入れていただいて、やっぱり若い方に積極的にやっていただくような体制をぜひとも構築をしていただきたいということ。それとあともう一点、米子ヨネギーズクラブ、これって今、会員数が何人ぐらいおられるんですかね。

○奥岩分科会長 角課長。

○角秘書広報課長 すみません、ヨネギーズクラブの会員数につきましては、申し訳ございません、現在ちょっと数字を持ってきておりませんので、また報告をさせていただきたいと思えます。

○奥岩分科会長 岡田委員。

○岡田委員 前回は聞かせていただいたときに、結構少なかったイメージがあるんですよ。ですんで、それから増えたのか増えてないのか、はっきり分かりませんが、この米子ヨネギーズクラブも、増やしていくんだったら増やしていくってことで、もっと何か明確な政策っていいですか、こういうことをやって増やしていくんですってというようなことを、ぜひとも我々に分かる形でお示しをしていただきたいなって思えますんで、またじゃあ後から、その人数ですね、教えていただけたらと思いますんで。以上です。

○奥岩分科会長 今城委員。

○今城委員 まず、何点か教えてください。

3ページの下の段、鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糺町庁舎整備等事業で、14年度までの予算の年度のものは総括のときに伺ったと思うんですけど、本年度、この予

算として計上されたものの中の具体的な、整備費というふうに書いてありますので、ほぼほぼ。具体的な工程とか、どのような内容かだけ教えてください。

○**奥岩分科会長** 泉原調査課担当課長補佐。

○**泉原調査課担当課長補佐** 糺町庁舎につきまして、4年度の工程というお尋ねだったと思います。

現在、今年度末を目途としまして詳細設計を実施しておるところでございます。来年度、具体的な時期についてはまだちょっとはっきり固まっておりませんが、6月もしくは7月、その辺りをちょっと軸に調整中というところではございますけれども、その辺りから着工となっていく予定でございます。以上です。

○**奥岩分科会長** 今城委員。

○**今城委員** そうしましたら、承知しました。

あと、4ページの上の段の、先ほどもちょっと御質問ありましたが、災害対応効率化推進事業なんですけれども、ここで、システム上のGISっていうか、これGPSですか。GISで管理って書いてあるのは、これGISってことでは。ごめんなさい、ちょっと細かくて。

○**奥岩分科会長** 田中防災安全課課長補佐。

○**田中防災安全課長補佐兼危機管理室長** システムはGISです。地図情報システムでございます。

○**奥岩分科会長** 今城委員。

○**今城委員** そうしましたら、分かりました。

それで、これ、災害時等にいろんな情報がずっと地図上に落とされていくっていうことで、蓄積されていくっていうふうにも、効果等も含めて書いてありますね。それで、平時は都市整備部門での破損状況等の管理に活用っていうふうに書いてあって、ということは結局、例えばあそこの水路が詰まったよとか、あそこの道路が陥没しとるとか、そういうようなことがこのシステム上にずっと落ちていって、それは都市整備部というところでやるっていうことなんでしょうか。

○**奥岩分科会長** 田中課長補佐。

○**田中防災安全課長補佐兼危機管理室長** 現在、システム導入後の利用については都市整備部門のほうとも調整しておりますが、そういった活用方法を想定して調整を行っているところでございます。

○**奥岩分科会長** 今城委員。

○**今城委員** 何か私のイメージは、例えば、ちばレポみたいな感じで、データが寄せられたものをこちらでずっと入力していくっていうように。で、その対応をどンドンしながら直していくっていう、そういう感覚があるんですけども、そうとなると、例えばこれ、都市整備部だけじゃなくって、例えば農林とかの農業系の水路とか、道路っていうかね、農林道辺りは実際ずっと壊れたりしてますよね。そういうところとは一緒っていうのも、これも検討中っていうことですかね。

○**奥岩分科会長** 田中課長補佐。

○**田中防災安全課長補佐兼危機管理室長** 今現在、農林課と調整をしておるわけではありませんが、実際まだちょっと導入前でございます。今年度、先行導入しておられ

まず松江市さんに視察に伺ったりですとか、様々なシステムの研究のほうを進めてまいりました。そうした利活用ができるということで、今現在、都市整備部門とは調整を行っております。いただいた御意見については参考とさせていただきますと思います。

**○奥岩分科会長** 今城委員。

**○今城委員** 3ページのところには、スマート窓口のシステムのところで、あっ、ごめんなさい、今言うところは8ページなんですけれども、システムのところ、構築がありました。同じようにスマート窓口の運営事業が8ページ、載っております、これ、二次稼働について全世帯対象ということになっているものですから、この全世帯対象となるっていうのは、ちょっと代表質問や関連質問のときにも少し伺っているかなと思うんですけれども、どのような内容でこれが運用され、それによって、市民としてはどのような利便性になっていくのかっていうところをちょっとお聞かせください。

**○奥岩分科会長** 宇山課長補佐。

**○宇山調査課長補佐兼行財政調査担当課長補佐** 二次稼働後にはスマート窓口の対象が全世帯ということになりますので、そうなった後に市民の方がどういう利便性を享受できるかというお尋ねかと思います。

基本的に、出生や転出入、転居、死亡、婚姻などといった、いわゆるライフイベントと呼んでおりますが、ライフイベントを行われた際には、様々な分野で様々なお手続きが必要になってまいります。それらのお手続きを、この方には、こういうお届けをされたときにはこういうお手続きが必要だということを自動的に判断をして、できる限り1か所でそのお手続きができるようにする、どうしても1か所でできないものは、担当課のほうに情報を連携して、担当課に行ったらすぐにそのお手続きができるようにする。それによって、住民の方の負担軽減、あと、市内部の事務の軽減を図ろうとするものでございます。以上でございます。

**○奥岩分科会長** 今城委員。

**○今城委員** 承知しました。二次稼働、10月ぐらいからスタートとかっていうふうにおっしゃってますので、しっかりその辺、進めていただくということと、結局窓口に来たときに、一度は必ず窓口には来るんですよ、ライフスタイルで必要なことですから。そうすると、そのときに、こんなことやあんなことやこんなこともできる、こういうことできるんですとかいうことをしっかり伝えてさしあげないと、結局、二度三度やってきたんだよっていう話になっちゃうと思うんですね。なので、スマート窓口のいいところっていうのは結局、こちら側が何ができるかっていうことをしっかり伝えた上で、市民の方がそれを全て、この一回で終わったんだっていうふうにしていただけるようになることができるだけで、100%は無理だと思うんですけど、そうなることっていうのがとても大事なことだと思いますし、質問のときにも副市長も、お悔やみのこともこの稼働からやっぱりしっかりとやっていきたいっていうこともおっしゃってまして、私もお悔やみコーナーのことはずっとお願いもしてきたところですから、そういう意味ではそこでも、あれもこれも結局落ちとったけん、二度も三度も来たわっていうことになったら、これ、やる意味があんまりないよねっていうことになるので、こちらの、何ていうんですかね、対応として、こんなこともこんなこともこんなこともありますがいかがですかっていうこともやっぱり、第一ですとかどうか分からないんですけど、対応する最前線のところがそのことしっ

かり分かってくださっているっていうことが、もしかすると活用するための大事なポイントになるかなと思いますので、そこら辺のことはしっかりと、研修も含めてよろしく願います。以上です。

**○奥岩分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 今の今城委員さんから大変重要な御指摘いただきました。少しだけ補足させていただきますと、今、担当のほうからも御説明いたしましたが、スマート窓口というのは基本的に、手続が必要なものをプッシュ型でお示しすることになります。ですから、画面上に必要な手続が全部出てくるという形になりますので、したがって、それを全部こなしていただくと、対象の手続が全部終わるということですので、二度三度来ていただく必要がなくなるということだというふうに御理解いただきたいのと、そんなに遠くない将来、市役所に来なくてもそれができるということにこれが発展してまいります。今言ったように、手続がワンパッケージで、こういうことが起きたらこういう手続が関連で必要になってきて、そこを予告して通すような情報管理システムができますので、その先には、今、米子市も若干後ればせながらですけど、電子申請システムというのに取り組み始めました。若干遅れたんですけども、正直言って。要するに、外部からスマートフォン等でいろんな申込みができる、申請手続ができる、この基盤をやっと今年度導入したところなんですけども、そんなに遠くない将来、今は窓口に来ていただいて、そのシステムでやっていただくんですけど、外部からスマートフォン等でアクセスしていただくと、同じようなシステムがスマートフォン上でできるということに発展してまいります。ですから、よほどのことがないと、よほどのことというのは、御案内のとおり今いろいろ御意見はありますが、マイナンバーカードを使って、現在、転出と転入と、どっち側の市役所も行かなきゃいけないんですけども、転入側にだけ行けば転出手続が要らないというようなシステムがもう走り始めてます。そういったふうに、市役所に来ていただかなくてもいろんな手続ができる、それも漏れなくできる。そして、忘れていたものもプッシュ型でスマートフォンのほうに、この手続が必要ですからしてくださいという御案内が届くようになります。これが、そういう時代がもう目の前に来ておりますので、そこに向かって、米子市としてはまず一步、スマート窓口をつくることで、その発展の階段を上っていくということだと思っておりますので、御指摘のことをしっかりやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**○奥岩分科会長** ほか、よろしかったでしょうか。

角秘書広報課長。

**○角秘書広報課長** 先ほど岡田委員のほうからお問い合わせいただきました米子ヨネギーズクラブの会員数、こちらのほうを報告させていただきたいと思っております。

令和2年の登録者数が360名、令和3年度2月時点になりますけども、現在426名の登録となっております。以上でございます。

**○奥岩分科会長** それでは、ほかないようですので、本件については終了いたします。

次に、議案第31号、令和4年度米子市土地取得事業特別会計予算を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総務部次長。

**○長谷川総務部次長兼財政課長** そういたしますと、議案第31号、令和4年度米子市土

地取得事業特別会計予算の概要について説明いたします。

説明資料につきましては、事業別予算書のほうを御覧いただけますでしょうか。令和4年度事業別予算説明書の201ページをお開きください。事業別予算書の201ページでございます。そういたしますと、201ページの上の表でございます。起債償還元金といたしまして、4,702万円を計上しております。これは、平成18年度に土地開発公社経営健全化計画に基づきまして、土地開発公社の用地を取得しておりますが、その際に発行いたしました市債の償還元金を計上したものでございます。

続きまして、下の表、起債償還利子といたしまして80万5,000円を計上しております。これは、先ほど御説明いたしました市債の償還金の利子部分を計上したものでございます。

説明は以上です。

**○奥岩分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

**○奥岩分科会長** ないようですので、本件については終了いたします。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午前10時59分 休憩**

**午前11時42分 再開**

**○奥岩分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

議案第22号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第15回）のうち、総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

川本総合政策課長。

**○川本総合政策課長** それでは、議案第22号、令和3年度一般会計補正予算（補正第15回）のうち、総合政策部所管の事業について御説明させていただきます。説明につきましては、令和3年度米子市補正予算書を御覧ください。

予算書の33ページをお開きください。2款1項9目企画費の欄に記載の4事業につきましては、その全てが総合政策部所管の事業でございます。

まず、増額となっております2事業についてでございます。上から3番目の生活路線運行対策事業、そして4番目の循環バス（だんだんバス）運行事業でございますが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響による運賃収入の減少などを主な要因として、補助金及び負担金の実績が増えたものでございます。

次に、減額となっております2事業についてでございます。このうち1番目の鳥取県西部広域行政管理組合負担金につきましては、いずれも入札結果や処理料の減など事業実績に伴う減額補正でございます。また、上から2番目の中海・宍道湖・大山圏域市長会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により海外との交流などを行う事業が中止や延期となったことから、実績により減額補正を行うものでございます。

以上で総合政策部関係の補正予算の概要についての御説明を終わらせていただきます。

**○奥岩分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。



〔「なし」と声あり〕

○**奥岩分科会長** ないようですので、本件については終了いたします。

次に、議案第29号、令和4年度米子市一般会計予算のうち、総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

川本総合政策課長。

○**川本総合政策課長** それでは、議案第29号、令和4年度米子市一般会計予算のうち、総合政策部所管の主な事業につきまして御説明申し上げます。説明は、歳出予算の主な事業の概要により行わせていただきます。

初めに、2ページをお開きください。上の段、女性の専門職資格取得助成事業といたしまして77万7,000円を計上しております。これは、出産、育児のために離職した女性の再就労の支援及び女性活躍の視点から専門職資格の取得に要する費用を補助するものでございます。

次に、5ページをお開きください。下の段でございます。生活路線運行対策事業といたしまして1億3,416万8,000円を計上してございます。これは、生活バス路線の中で運賃収入だけでは維持することができない不採算路線につきまして、運行経費の一部を運行事業者に対して補助するものでございます。

続きまして、6ページ上の段、循環バス（だんだんバス）運行事業といたしまして3,262万1,000円を計上してございます。これは、米子市中心部の移動をスムーズに行うため、だんだんバスの運行を実証運行も含めて実施するものでございます。

同じく下の段、移住定住推進事業といたしまして401万3,000円を計上しています。本市への移住定住を推進するため、ワンストップ相談窓口の設置や選任相談員の配置、またお試し住宅の運営を行うものでございます。

続きまして、7ページ上の段、高校生通学費助成制度といたしまして161万3,000円を計上しております。これは、県内の高等学校等に公共交通機関を利用して通学する場合、通学費が月額7,000円を超えた額を補助するものでございます。

同じく下の段、高齢者バス運賃助成事業といたしまして1,212万4,000円を計上しております。これは、満70歳以上の全ての高齢者に対しまして高齢者向けバス定期券の購入費を補助するものでございます。

続きまして、8ページ上の段、スマート窓口運営事業といたしまして3,647万2,000円を計上しております。これは、昨年10月から稼働しておりますスマート窓口システムの二次稼働分といたしまして、介護保険、国民健康保険、後期高齢等のシステム運用を始めるものでございます。

同じく下の段、米子市公共交通ビジョン改定事業といたしまして100万5,000円を計上しております。これは、米子市公共交通ビジョンを改定し、国の法律に基づく地域公共交通計画を策定するものでございます。

続きまして、9ページ上段を御覧ください。コミュニティ活動先行実証事業につきまして40万円を計上しております。これは、春日地区が取り組むコミュニティ活性化の試行的な取組を支援することにより、先行事例として検証し、今後の地域へのまちづくり支援の在り方の検討を行うものでございます。

その下、9ページ下段を御覧ください。みんなで取り組む将来に向けた活力促進事業につきまして1,666万7,000円を計上しております。これは、地区内の遊休施設を活用し、地域の活動団体が主体的に取り組む地域コミュニティ活動を行うための拠点等の整備に対して県と協調して支援を行うもので、令和4年度は永江地区の取組の支援を行おうとするものでございます。

めぐりまして、12ページ上の段、人権教育・啓発事業といたしまして951万9,000円を計上しております。これは、部落差別をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて、小地域懇談会や米子市人権・同和教育研究集会の開催など、人権教育や啓発を推進するものでございます。

16ページ上の段、鳥取県更生保護給産会施設改築助成事業といたしまして555万7,000円を計上しております。これは、更生保護法人鳥取県更生保護給産会の保護施設の老朽化に伴う改築費の一部につきまして、県及び県内市町村が助成するものでございます。

これまた飛びまして、42ページを御覧ください。よどえ魅力発信プロジェクト推進事業につきまして42万円を計上しております。これは、県との連携を図り、伯耆古代の丘エリアに点在する遺跡をはじめとした地域資源の魅力を一体的に発信し、来訪の機会につなげるべく令和3年度に作成したストーリーパンフレットの増刷や、淀江の魅力発見をテーマとしたフォトコンテストなど関連企画を開催するものでございます。

続きまして、めぐっていただきまして45ページ下段の伯耆古代の丘エリア周遊アシスト事業につきまして70万円を計上しております。これは、令和2年度から3年度にかけて実施いたしました健康アシストin淀江事業で取得した電動アシスト自転車をレンタサイクルとして活用し、健康づくりや淀江地域の名所などを周遊する機会を提供することでにぎわいづくりにつなげていくものでございます。

続きまして、これも飛びまして53ページをお開きください。こちら上の段、立地適正化計画策定事業といたしまして1,641万5,000円を計上してございます。これは、人口減少の中にあっても持続可能なコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進するため、立地適正化計画を策定することとしておりまして、業務委託、関係機関協議、検討委員会に係る経費を計上するものでございます。

続きまして、同じく下の段、まちなかウォークブル推進事業（角盤町周辺地区）といたしまして2,400万円を計上してございます。これは、角盤町周辺地区におきまして居心地がよく歩いて楽しいまちづくりを進めることで、町なかのにぎわい再生を図る取組として、市道2路線の歩行空間の整備等のための測量設計に係る経費を計上するものでございます。

以上で総合政策部所管の主な事業の予算説明を終わります。

**○奥岩分科会長** 当局の説明は終わりました。

暫時休憩いたします。再開は午後1時とさせていただきます。

**午前11時52分 休憩**

**午後 1時00分 再開**

**○奥岩分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

それでは、委員の皆様からの意見を求めます。

今城委員。

○**今城委員** まず、7ページの上段なんですけど、高校生通学費助成制度というところで確認をさせていただきたいところです。対象としてのものが市内の高校生であるということは分かるんですけども、市内に通学のみなのかどうなのかというところ、倉吉の件もありましたのでちょっと伺っておきたいと思います。

○**奥岩分科会長** 石上交通政策課長。

○**石上交通政策課長** 高校生通学費助成の対象でございますが、市内に居住する高校生が県内の高校に通う場合に対象となります。実際、倉吉の学校に通ってるお子さんも何人かおられて、支出しております。

○**奥岩分科会長** 今城委員。

○**今城委員** 分かりました。

次に、9ページの下の段です。みんなで取り組む将来に向けた活力促進事業というところで、事業の開始っていうのが大体決まっているのかっていうことと、これあれですよ、施設を改修ということも含めてですので、スタートが決まっているのかという。あと、具体的な交流活動というものはどういう内容なのかということと、他地区にもというようなこともあると思いますので、今後の展開等についても今計画があるようでしたら教えてください。

○**奥岩分科会長** 毛利地域振興課長。

○**毛利地域振興課長** 9ページ、みんなで取り組む将来に向けた活力促進事業について、今年度はこの事業を永江地区が取り組むということになっております。この永江地区が地域の施設を改修して事業を行うということなんですけど、この改修事業の開始時期っていうのはまだ具体的な話としていつということは決まっておりませんが、今年度中に着手するという予定と聞いております。

それから、内容なんですけれども、この永江地区の皆様が精力的に取り組みたいこととして、子どもそれから高齢者、そういった部分の多世代交流サロンのようなものを目指していきたいなということでございます。そして、子どもに対しては、特に学習支援や、できれば子ども食堂のようなものも開設していきたいというような今考えを持っておられますけれども、これはたちまち4年度からということではなくて、4、5、6と順次活動を広げていきたいなということで、多世代の交流的サロン、それから高齢者のフレイル対策についてもこちらでもやっていけるんじゃないかという検討をしておられるところでございます。

本事業につきましては、鳥取県と協調して行うものでございまして、この永江地区は今年度からなんですけれども、ほかの地区で同様のことがありましたら、いろいろな事業補助メニューを探しながら対応していくというふうに思っているところですが、今のところそういった計画というのはありません。以上です。

○**奥岩分科会長** 今城委員。

○**今城委員** 分かりました。

人権政策課さんのもいいんですよ。12ページの上なんですけれども、人権教育・啓発事業で内容的にはあれなんですけど、事業計画という中に今回本会議でも様々課題として上がってきておりましたが、LGBTQプラス等の啓発についてのことっていうのがなかなかこの中では見えてこないんですけども、啓発等を進めてまいりますとか進めていま

すってというふうにはなって答弁はいただいているんですけども、具体的なこの予算の中にも上がってこないというか、金額の問題ではないとは思いますが、こういう状況じゃあ具体的にはどういうところに取り組んでいるのってことが見えてこないの、その辺のところを少しお聞かせいただけますか。

○**奥岩分科会長** 河田人権政策監。

○**河田人権政策監兼人権政策課長** L G B T Q プラス、いわゆる性的マイノリティーの方々への啓発支援というところでございますが、これらの事業の中に組み込むべくという視点におきましては、小地域懇談会、こちらのほうでメニューの一つとして地域のほうにお示しする、または、今後の企画展等で取り入れていく、そういったところも視野のほうには入れております。また、コミュニティスペースも開設を今年度いたしましたので、そちらのほうも継続して県と連携しながら取り組んでいくところでございます。

○**奥岩分科会長** 今城委員。

○**今城委員** おっしゃってることはとてもよく分かってるんです。やってないなんて一つも思ってなくて、なんですけど、やっぱり小地域懇談会のところでじゃあどういふふうに具体的な話とかになってきてるのか、地域の中でどういふふう理解が進んでるのかっていうことっていうのがあまり見えてこないですよ。それ見えてこないから話題にはならない、話題にしないしてほしいっていう方ももしかしたらいらっしゃるのかもしれないし、そこはまた難しい問題だとは思ってるんですけど、私のこれは考えなんですけど、一度はちょっと風を起こしてみると言うとなんか変ですけど、やっぱり波を起こすというか、そういう形になってみないといろんな方に啓発っていうのは難しいのかなっていうふうにも思いますし、もちろん当事者の方たちの思いっていうのもとても、そこをなおざりにするとか、そこを無視するとかっていうことは一番しちゃいけないことだとは思ってるんですけども、市としてどう取り組むのかっていう姿勢がちょっと見えてこないなっていうところ、やってくださってることは分かっていますし、例えばポスターの件だとかもしてくださってるのも見てるし、自分でも貼ったりとかもしたけども、じゃあそれで一体どう動いてきてるのか人々の気持ちっていうのは、ちょっと見えてこないところについて、そこだけを突き詰めて言うつもりはないんですけども、やっぱりその辺の視点とかっていうのはちょっと少し変えていただけないのかなっていうのを、これは予算のことでもうこうではないんですけど、ちょっと少し検討は今後必要なのかなっていうふうに思っていますので、検討いただければというふうに思います。

もう一ついいでしょうか。53ページの立地適正化計画策定事業なんです。これ本年度からずっと策定に向かってのものをずっとしてござって、私も1回傍聴させていただくために参加をさせていただいたりとかしたんですけども。これ専門家の皆さんずっと積み上げをしてござっている状態だっていうのはすごくよく分かっています。最終的に出来上がるっていう前段階で、例えば町の中でいろいろ私たちも聞いたりとか見たりとか、こんな意見があるよとか、そういうことっていうのもたくさんあるかなっていうふう思うんですけど、そういう専門家の皆さんが一遍積み上げているっていうようなことも踏まえてなんですけど、町の意見とか、それから私たち町のものを取り上げてきているような議員の意見とかっていうものがどこかで反映されるのか、それが例えばこの1年間の予算の中のスケジュール的なことに生かされていくのってことがちょっと分からない

もので、どうなのかなっていうふうに思っているところで。その辺の考え方というか、この今後のスケジュール的なものも含めて、あるようでしたら教えていただければと思います。

**○奥岩分科会長** 相野都市創造課長。

**○相野都市創造課長** 立地適正化計画の今後の進め方ということで御質問いただきましてお答えさせていただきます。立地適正化、今年度から策定を始めておりまして、2年間かけて来年度中に完成を目指して今策定を進めてるところです。策定するに当たりましては、当然市民の方の御意見とか議員の皆様の御意見とかを伺う機会を設ける必要があるかと思っております。今年度につきましては、市民アンケートのほう実施させていただきました、その結果等を踏まえて、委員会のほうでただいま検討を進めさせていただいてます。今年度については、主な作業としましては、各種データの集計ですとか、今のアンケートの取りまとめ、こういったものが主になっておりまして、具体的な施策の方向性ですとかそういったものにつきましては、来年度本格的に策定するようにしております。それを策定するに当たりましては、当然検討委員会のほうで御意見いただきながら策定を進めさせていただきますけれども、その結果をまた踏まえて、こういった委員会とかの場で御報告も兼ねまして御意見をいただくような場を当然設けさせていただこうかと思っております。策定の前には当然パブリックコメントですとか、住民の方に対しての説明会、こういったものを開催するように考えているところです。以上です。

**○奥岩分科会長** 今城委員。

**○今城委員** ありがとうございます。なかなか難しい、立地適正化計画とかっていう言い方をすると、とても取っつきにくくて分かりにくいって、何がどうなのかってちょっと分かりにくいかなって一般的には思うところなんです。なので、まちづくりのときにもいろんなところで説明していただく中で、いろんな意見も出たりとかっていうときもあったかなというふうにも思ってますので、それをしてくださいというふうには思っていないんですけども、それに似たようなとか、それから代わるような何か作戦があれば、できればありがたいかなという気持ちにもなりますので、そこはよろしくお願いします。以上でいいです。

**○奥岩分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** 9ページ上段のコミュニティ活動先行実証事業についてお聞かせください。これ読ませていただいて、先ほども説明があったんですが、要は春日地区ということになっておりますが、これは、要は春日保育園が統廃合によってなくなるがゆえにこのような実証事業なのか、いやいや、市内を押しなべて広く見て、何かの条件抽出したら春日地区だったのか、まず春日地区になった背景の部分をお聞かせください。

**○奥岩分科会長** 毛利地域振興課長。

**○毛利地域振興課長** 本事業のなれ初めといいますか、そもそもというところですが、これは委員おっしゃるように、保育園跡地の活用ということで話がスタートしたものでございますけれども、基本的な地域活動のいろいろな新しい動きに関して、本市公民館を市長部局に統合という来年度の大きな方針の中で、各地域いろいろな活動が、力を入れていかれる活動の支援というの併せて考えていかなくちゃいけないところがありますので、ここにも書いてございますように、支援の在り方も含めて検討していくというふう

になります。

具体的には、春日地域のまちづくり協議会を設置されて、春日のコミュニティーの活性化を図られる事業を支援していくというスタイルを取ることになります。

**○奥岩分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** ちょっと私のほうで補足説明させていただきたいと思いますが、きっかけは先ほど地域振興課長のほうが申し上げたとおりでございます。

それで、あと、このたびこの議会で様々に、いわゆる地域の在り方、地域のまちづくりについて、それこそ多くの議員の皆さんからも御議論をいただいているところです。私どもも将来、要は、主に大体2040年というふうに一応国のほうでは言うておりますけども、副市長さんは2030年ぐらいを目指すほうがええでというふうに言うておられるんですが、本当にそこを目指してどういう地域づくりをしていくんだということで、実は現在模索しているところです。それで、例えばルールを決めて、こういうやり方でやりましょうというよりは、それぞれの地区での盛り上がりがあったときには、そこに乗っかっていろいろなものを要はつくっていかうと。それがこのたびの春日であったり、永江であったり。あとは、今、義務教育学校のことやっております美保地区であったり。そういう様々な地区でいろいろな活動があった、その盛り上がりに乗っかって地域づくりをやっていかうというのが基本的な考え方です。ですから、どうか委員の皆さん方におかれても、それぞれの地域でそういう盛り上がりがありましたら、私どもきちんと予算をつけさせていただいて、まちづくりをさせていただきたいと思っておりますので、ぜひ皆さん方と一緒に地域づくりをやらせていただけたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。

**○奥岩分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** 何か部長節に乗せられて、はい、いいですよとか言いそうになりましたけど、乗っかってとか、機運が盛り上がるとか、あと、そこに行政的な何かの事情が絡まって、これは地域の人が寄り合って話していかなきゃいけないなっていう事情が生まれれば、多分、速やかに市のほうも対応して、このような試行とか協議会とかをやりますよというふうに理解はいたしました。それが悪いなんて一つも思いませんけど、市に来てもらえるように、私の地域を盛り上げるように頑張りたいと思っておりますのでおきますが。

そうすると、ちょっと次の質問あんまり意味を成さないかもしれないんですが、私、読み取りで最初の部分、最初にこれを見たときに、要は保育所がこれから統廃合の計画があるので、例えば東保育園は啓成小に移るだけですんで対象にならないかなと思っておりますが、南保育園とか、それからほかにも保育所に限らずあれば、先ほどの答弁のとおり、こういうものも設置すると。今回、春日はそれの実証事業だと。先ほどの美保地区はもうまちづくりの、普通のと言ったらおかしいですけど、協議会があつてということは、この実証事業っていうのはやっぱり何かの結果というか答えというか、実績というかを求めるからこの名前になってると思うんですが、何が目標とか目的とか、数値的なものとかがもしあれば教えてもらいたいんですが、お願いします。

**○奥岩分科会長** 毛利課長。

**○毛利地域振興課長** 実証事業という言い方をしておりますけれども、いろいろな、いわゆる試行的な、春日地区のこのまちづくり協議会という今、名前で組織をされております。

実際に、春日地区の皆さん方がこの場所を使って子どもの居場所づくりとか、高齢者の健康増進に向けた取組、やはりコミュニティーの活性化を目指すような動きをいろいろ今考えておられるところで、そういった地域の皆さん方もどういう活動ができるのかを考えていく試行的な取組というものがあまして、それを一つのゴールというか、そういうものは設けないんですけども、どういう活動をこれから考えていかれる部分を支援していくというための活動費というふうに捉えております。

○奥岩分科会長 稲田委員。

○稲田委員 予算が40万円なんですけど、これのもうちょっと詳しい使途というか、どういうものが予定されてるのか教えてください。

○奥岩分科会長 毛利課長。

○毛利地域振興課長 これも、先ほど申し上げました試行的な取組で、どういったところを最初、今年からやっていこうかということは実際まだ決めかねておられるところでしたので、今、この予算の根拠といたしましては、施設を使っていく光熱費的なところを、昨年、一昨年の光熱費的なところを一つベースにしております。ただし、これが光熱費として使ってくださいというふうに思っているものではありませんので、活動全般にかかる費用に御使用になられるようにというふうに思っているところでございます。

○奥岩分科会長 稲田委員。

○稲田委員 目が飛び出るほど大きい数字じゃないんですけど、必要最小限、最低限、プラスアルファのところかなと思います。ちょっと見えにくかったので質問しました。これで足りるのか足りないかもちょっと私見通せないで、これ以上は言いませんが。

最後、すみません、ちょっとこの本事業とは若干ずれるんですが、先ほど課長の答弁の中に公民館云々というのがありましたので、ちょっとだけ言わせてください。要は、公民館の動きが大きくあって、今、まちづくりの話もあって、ちょっとまだ議会のほうに正式に説明が受けたような記憶がちょっと私がないもので、今後、令和4年度、いや、どういったふうに動いていきますというの、公民館がっていう報告をまたどこかの機会にただけたらと思います。これは勝手な要望ですが、よろしくお願いします。

○奥岩分科会長 安達委員。

○安達委員 委員長、よろしく申し上げます。若干重なったところもあるのかもしれませんが、自分の視点を交えて質問したいと思いますので、よろしく申し上げます。

6ページ上段、循環バス（だんだんバス）の運行事業について。この事業の概要を見ますと、前年度から非常に大幅な予算措置がされていると思って見たんですが、その事業内容をもう少し細かく、詳細なものを示していただきたいと思うんですけど、よろしく申し上げます。

○奥岩分科会長 石上交通政策課長。

○石上交通政策課長 循環バス（だんだんバス）運行事業、昨年度より増えておりますのは、昨年12月より開始しました実証運行を通年で実施するための経費が主に増えた内容となっております。

○奥岩分科会長 安達委員。

○安達委員 通年やりたいってことですね。ですから、4月から1年間かけてということですね、確認です。

それで、以前からもバス運行についていろいろ質問や意見を言ってるんですが、少し事例を含めて言いますと、二次交通ということで表現しとられますけども、一次交通があるとしたら生活路線なのかなと思うんですけども、担当者から言われると。一つの事例、二つの事例言いますが、一つは知り合いの方で高齢者、75歳以上でして、事故があったのか分らないですけども、いわゆる運転免許を返納されました。最近、家の風呂場で転倒して骨を2本ほど折って、町内にある整形に1時間ほどかかって行かれたそうです、歩いて。家がかなり忙しいので、息子さんたちに世話かけたくない思いだったかもしれません。直線で2キロもない、家からその病院まではそうなんですけども、そういった方がおられると、今までは自分でマイカーを使って動いてたんですけども、周りが非常に高齢になったから気をつけなさいよと言われて返納した。そういう方の利便っていうのはなかなか難しいのかなというふうに、ほかに事業がありますからって紹介されるかもしれませんが。

もう一つは、和田の地内の方ですけども、80歳ぐらいのおばあちゃんですが、御主人もまだ免許を持って運転されます。周りは非常に心配しておられますが、ただ畑に行くための軽トラ運転だというふうに言っておられるんですよ。ただ、この人、歯が痛くなって歯医者に行くのにどうしたらいいかっていったら、いわゆる路線バスを使って外浜線の、いわゆる、何ですか、中心市街地に向かっていく方向に歯医者さんがあるので使っていると。そういったところで二次交通に行くまでに、一次交通のところ非常に苦しんでおられる方や、交通手段の困難な方というところがあるんですけども。

もう一つ言うと、町内でやっぱりだんだんバスみたいなのが何で和田に走ってこんだっていうの、しょっちゅう言われるんですよ。なかなか答えが出しづらい。担当に聞くと、中心市街地にやってこられたら医療関係、それから買物、その他に供与するバス路線の配置で事業を運行しておられる。そのところが、非常に地域の方には、郊外にいる方には答えが出しづらいんですよ。昨日まで代表質問がありましたけども、そこを取り込んでおられた議員もおられますけど、このいわゆる郊外におられる方への、もう一つ、二つあるのか分かりませんが、交通の利便っていうのは考えられんでしょうか。どうでしょうか。

**○奥岩分科会長** 石上課長。

**○石上交通政策課長** 循環バス、だんだんバスにつきましては、郊外から路線バスやJR、自家用車の送迎などで町なかに来られた方の町なかでの移動を便利にするということで、総体的に市全体の公共交通の利便性を高めるために実施している事業でございます。

郊外につきましては、今のところ路線バス以外のものにつきましては、淀江地区内でどんぐりコロコロコミュニティバスを実施しておりますが、それ以外のところではありません。この辺につきましては、抜本的な公共交通の体系の見直しということで、新年度、ビジョンの改定を予定しております、その部分でかなり地区ごとに踏み込んだ議論をして、形にしていこうかなと思っております。

**○奥岩分科会長** 安達委員。

**○安達委員** 今、答弁いただいたんですが、石上課長に。その後半の部分で、新年度に入ったら新しいビジョンの事業をって紹介をされたように思うんですが、それは、この概要書にどっかに載ってるんでしょうか。

**○奥岩分科会長** 石上課長。



○石上交通政策課長 8ページの下段にあります。

○奥岩分科会長 安達委員。

○安達委員 8ページの下段。公共交通ビジョンの改定事業、このことが今言われた内容だったんですか。ちょっとここもどんな質問を組み立てるかなと思って分かってなかったんですが、じゃあ、いわゆる新年度から始めようとする新規事業で、私が先ほど言いました一次交通とかの交通の利便を、交通政策として考えようとする事業内容ということですか。もう少し事業内容も詳しく言ってもらえませんか。

○奥岩分科会長 石上課長。

○石上交通政策課長 米子市公共交通ビジョンといたしますのは、平成元年9月にまとめまして、議会等も諮りまして決めたものでございます。米子市の公共交通の将来的な方向性を定めたものでございますが、それをさらにもう少し詳しく、時代もたっておりますし、コロナの影響とかもありますので、改定して第2版的なものにして、より使いやすいというか、実態に即したような計画にしていこうというふうな事業でございます。

○奥岩分科会長 課長、今、平成っていう答弁でしたが、令和の誤りですよ。

○石上交通政策課長 令和、令和元年です。失礼しました。令和元年9月です。

○奥岩分科会長 安達委員。

○安達委員 ということは、先ほど自分が言っとったのはバスのことを言ってたんですが、これは公共交通ですから、境線とかJRとかタクシーも入るんでしょうか。そういった公共交通全般を指しての事業内容ということですね。

○奥岩分科会長 石上課長。

○石上交通政策課長 令和元年の公共交通ビジョンにも、バスだけではなくJR、タクシー等も全て網羅しておりますので、もちろん全体的な計画です。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 3点ほどお伺いしたいというふうに思います。

まず最初、2ページの上の段、女性の専門職資格取得助成事業についてということでお伺いしたいんですけども、これは前年と同額が予算計上されてるんですけども、具体的に前年では何人の方を対象に助成をなさっておるのか。まず、そこについてお伺いします。

○奥岩分科会長 永江男女共同参画推進課長。

○永江男女共同参画推進課長 前年度の実績をまずお答えしたいと思います。女性の専門職資格取得助成事業なんですけど、令和2年度の実績は28人の方に、金額は64万9,000円の助成となりました。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 じゃあ、28人に助成ということなんですけど、具体的にどのような資格を取得なさったのかっていうのが、特徴的なものがあればお示ししたいと思いますけれども。

○奥岩分科会長 永江課長。

○永江男女共同参画推進課長 主な資格としましては、介護士関係、そして情報処理関係、保育士の関係、あと、医療事務などが主なものとなっております。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 やはり女性特有のと言ったら語弊があるかもしれませんが、そういった職

種をイメージしたわけですが、そういった中で具体的に28名の助成対象者のうち、そういう方が再就労及び非正規から正規雇用への転換を支援するためというふうに出ているんですけれども、具体的にそういうふうな形につながったといった例というのは把握をされてるんでしょうか。

○**奥岩分科会長** 永江課長。

○**永江男女共同参画推進課長** 令和2年の8月にその助成事業を活用してくださった方にアンケートを行ったものがありまして、その結果によりますと、41人の方から回答はあったんですけれども、具体的に就職につながったとかそういったことの回答までは求めていませんが、全体として90%の方が就職とかスキルアップ、起業、自分で事業を起こすとか、そういったことにつながったという意見をいただきました。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** かなり有効に活用されているんじゃないかなというふうに見受けさせてもらいました。ぜひこういったことについて、より充実した制度にしていきたいというふうに要望しておきたいと思います。

次に、7ページの上の段、高校生通学費助成制度について。先ほども質問ございましたけれども、ここに、事業効果として公共交通機関を利用した通学者の増加が見込まれるということで書いてございまして、ただ、前年度に比べて新年度の予算は半減してるんですけれども、これはどういったことで、実績に基づいての半減なのか、そこら辺をお示してください。

○**奥岩分科会長** 石上交通政策課長。

○**石上交通政策課長** 今年度の予算額は、令和2年度の実績を基に、それに寄せてつけております。ちなみに令和2年度の実績は、48人で88万2,719円でした。事前のアンケートの対象者よりは少なかったもので、今年につきましては広報活動とかもし、また2年目ということで利用が増えるということで、これの倍近い金額の応募があるものとして予算を計上しております。今年じゃない、来年ですね。新年度は計上しております。以上です。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** 新年度は、一応、想定としては何人を想定されてるんですか。

○**奥岩分科会長** 山根交通政策課担当課長補佐。

○**山根交通政策課担当課長補佐** 令和4年度の予算の見込み人数でございしますが、令和2年度の実績が48件で、その倍の100件程度を見込んでおります。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** 月額実費負担額が7,000円を超える額を助成するというので、7,000円を境にして、それを超えたら助成するということだと思ってるんですけれども、具体的に、例えばケースとして、米子市内の高校生がこういったところに、どこまで足を延ばせばこの事業の対象になるのかっていうのはお示しいただけますか。

○**奥岩分科会長** 石上課長。

○**石上交通政策課長** 定期で通う場合JRとバスがありますが、JRの場合は単価がかなり安いので、なかなか、かなり遠くまで行かないと対象になりません。米子駅からすと日野高校がぎりぎり7,000円ちょっとで超えます。東のほうへ行きますと、由良、

鳥取中央育英や倉吉のほうの高校になりますといきます。境は近いので、境の高校については対象となりません。

バスにつきましては単価が高いですので、結構な割合でバスだけの通学ですと対象となります。例としましては、大高のほうから東高とか、三柳のほうから西高とかというくらいの区間でも7,000円は超えてしまって、対象となります。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 そうすると、大体、バス通の方が主な利用者ということで考えていいんでしょうか。

○奥岩分科会長 石上課長。

○石上交通政策課長 バス通の方と、あとはJRとバスを乗り継ぐ方も結構おられまして、そういう方は大抵の場合は対象となります。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 分かりました。こういった実費負担額が7,000円を超えるかどうかでいうことで7,000円がボーダーラインになってるんですけども、これをもっと引き下げて5,000円にするとかっていうところっていうのも出てきてると思うんです。ぜひそういうところも参考にしながら、より有効な、やっぱり、高校生っていうか、高校生を抱える家計の負担を少なくするといったことが狙いだと思いますので、ぜひ検討していただきたいというふうに要望しておきたいと思います。

最後に、9ページの上の段、コミュニティ活動先行実証事業ということで、先ほども質問がありましたけども、これ、春日地区ということで春日地区まちづくり協議会ですか、そういったところが春日保育園跡地を活用するというふうな形で記述がしてあるんですけども、この跡地を活用してっていうことは、園舎も利用することになるのかどうなのか、その辺はどうなんでしょうか。

○奥岩分科会長 毛利地域振興課長。

○毛利地域振興課長 跡地ですので、基本的には施設を、館を利用して活動をされるというふうに思っておるところなんですけれども、先ほども申しましたように、いろいろな利用法も含めて検討をされていくこれからはスタートというふうに思っておりますので、跡地利用という表現をしております。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 旧園舎も活用するというふうなところなんですけれども、例えばこの旧園舎の設備の改修とか、そういうものっていうのは考えておられるんでしょうか。

○奥岩分科会長 毛利課長。

○毛利地域振興課長 はい。園舎の改修も活動の内容に応じたもので、できることを検討はしていかないけんというふうには思っておりますが、現在のところはまだ、活動の状況から一緒に検討していくということだと思っております。

○奥岩分科会長 岡村委員。

○岡村委員 なぜこういう質問をさせてもらったかという、旧園舎はほぼ園児が利用するというで造られた建物ですよね。まちづくり協議会の方々が利用するということになれば、言わば成人、大人の方が利用するということになって、その設備の仕様、造りも当然違ってくる。例えばトイレなども含めて違うんだと思うんです。そういった点で、

やはり本当に積極的に活用しようと思えば、やっぱり利用しやすいような設備に改修するといったことも当然考えられてしかるべきだと思っんですけども、そこら辺はどういうふうにお考えでしょうか。

○**奥岩分科会長** 毛利課長。

○**毛利地域振興課長** 施設の、例えば設備についても考えていく必要があるということはおっしゃるとおりだと思います。一方で、地域の方たちがどういった活動をどのようにしていこうか、その進捗もございますので、そういったその費用の部分も含めて検討を要するものではないかというのが今の考え方でございますので、しないよ、するよということは今はっきりと決めているわけではないということだと。以上です。

○**奥岩分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** あと、要望しておきたいと思っんですけども、やはり、いろいろこれから活動を始められるに当たって、そういった設備に対するやっぱり改修の要望だとかっていうのは当然出てくると思っんです。そういったときにもきちんと対応できるように検討いただきたいというふうに要望しておきます。

○**奥岩分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** 13ページのマイナンバーカード取得促進事業なんですけども、これ、財源としては全額国庫支出金という。

○**奥岩分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** はい。

○**奥岩分科会長** すみません、そちら所管外になります。

○**岡田委員** これ所管外だかいね、分かりました。

そうしたら、すみません。そうすると、あと一つ、42ページ、よどえ魅力発信プロジェクト推進事業なんですけど、これ、パンフレットや何かでよく、結構いいやつだっというようにことを、評判を聞くんですけど、何かフェイスブックもやっもらえるみたいなんですけど、これ、どれぐらいの利用者があるのかっていうのあるんですか、今の時点で。

○**奥岩分科会長** 山浦淀江振興課長。

○**山浦淀江振興課長** パンフレットのほう確かに好評いただいております、いろんなメディアのほうにも取り上げてもらうようなことで、私どももうれしく思っているところでございます。

フェイスブックのほうにつきましては、よどえばらだいすというフェイスブックを運営しております、現在登録者が大体750人から800人の間のところで登録いただいております。随時情報について発信させていただきまして、「いいね」とかそういったところの反応も多数いただいとるような状況でございます。

○**奥岩分科会長** 岡田委員。

○**岡田委員** 私、別にInstagramからお願いされてるわけじゃないんですけど、結構、Instagramが何か若い人にはいいみたいなことをよく聞くんで、特に淀江の方なんかは特に県外に行かれても淀江のことを注目しておられる方なんかはかなり多いようなんです、ぜひともいろんなSNSを使われて、情報発信をしていただいて、歴史や文化や自然ということで大変魅力のある地域だということのをこれからも発信をし続けていただきたいなということで、要望しておきたいと思っんですので、ぜひよろしくお願いをいたしたいと

思います。

すみません、さっきの質問の流れで、さっきのは管轄外ということだったんですけど、スマート窓口の関連でちょっと言っておきたかったというか、今、よく情報管理で情報集積するとよくないというような意見もあるようなんですけども、そういうことをしますと、結果的に行政のいわゆる効率化ということの前提が成り立たないということになると思いますんで、当然、情報管理をしていくということ、それから、使い方に関してはきちっとした使い方をしていくっていうのは、これ当然のことなんですけど、今回、コロナ禍の中でかなり行政のスピードが遅いだとか、国の対応が遅いっていうようなこと、給付金なんかに関して意見があったんですけども、これは当然ですけど、情報の集積ということをするのがよくないっていうような意見もあって、なかなか、要は業務がスピーディーにできなかったっていうところもあると思いますんで、今、社会がICT化に進んでるというこの流れ、民間のほうは相当なスピードで進んでるわけですから、情報のセキュリティーだとか使い方ということにきちっとした注意をしながらも、やはり行政のスピードを上げていこうと思いますよと、このICT化っていうのはもうこれ進めていかざるを得ない、そのためにもこのスマート窓口等っていうのをやってるわけですから、ぜひともこの、今回もかなりスマート窓口に関する予算がついてますけれども、これが本当に効率的に運営されるように、ぜひともさらなる努力をしていただくように要望しておきたいというふうに思います。

**○奥岩分科会長** ほか、よろしいでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○奥岩分科会長** ないようですので、本件については終了といたします。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午後 1 時 4 2 分 休憩**

**午後 2 時 2 1 分 再開**

**○奥岩分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

御意見がありましたら発言をお願いいたします。

ちなみに、指摘事項につきましては、総務部所管の際の議案第22号のところ、岡村委員、岡田委員からそれぞれ御指摘いただいておりますが、いかがでしょうか。

特段御意見ないですかね。

〔「なし」と声あり〕

**○奥岩分科会長** それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

**午後 2 時 2 2 分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 奥 岩 浩 基